



枚方一中だより

日に新た 自ら学び 心豊かに たくましく

枚方市立第一中学校

こころをつなぐ「あいさつ」の力

校長 新保 喜和

緊張の面持ちだった1年生も少しずつ中学校生活に慣れ、2・3年生は上級生としての自覚が表情に表れています。全学年、授業も落ち着いて取り組めており、学校全体として良いスタートを切ることができました。季節外れの暑さや寒暖差の激しい日が続いていますが、まずは健康第一で過ごしてほしいと願っています。

一中の生徒たちは、素直で優しく、そしてさまざまな面で賢いです。これはご家庭のしつけや地域の手厚い支援のおかげであり、すくすくと育っていることを実感しています。

ただ、一つだけ私が生徒たちに強く願っていることがあります。それは、「自分から進んであいさつができる人になってほしい」ということです。元気にあいさつを交わせる子がいる一方で、残念ながら、あいさつが苦手な様子や、まだ自分から言葉にできない生徒も見受けられます。

「あいさつ」には、「自分の心を開き、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく」との意味があり、コミュニケーションの第一歩、仲良くなるきっかけ、感謝の気持ちを伝えるなどの目的があります。

よく「あいさつ」の大切さは、次のようなアクロスティックで表現されます。

あ	あかるく、アイコンタクト
い	いつでも
さ	さきにする
つ	つづけて、次の言葉を





ブログ写真より

これまで、担当したクラスや学年、学校、クラブの生徒たちには、何よりもまず「あいさつ」を指導してきました。社会に出れば多くの方に支えられて生きていくこととなります。「おはようございます」「ありがとうございます」を自然に言える人は、自分に自信を持ち、周囲からも信頼されます。それは感謝の気持ちが行動として表れるからです。

一方で、あいさつは「練習(トレーニング)」をしないとなかなか身につけません。以前、研修講師の方が「誰にでもできるあいさつでも、日頃から実践していないと、そのスキルは錆びついてしまう」とおっしゃっていました。

自然に大人の姿を真似てできるようになる子もいますが、多くの場合、意識的な練習が必要です。まずは朝の「おはようございます」です。道で見守ってくださっている地域の方、先生、そして友だち。まずは自分から声をかける一歩を踏み出してほしいと思います。

ご家庭でもぜひ、「あいさつ」の大切さについて話題にしていただければ幸いです。

○ブログで一中学生の様子を紹介しています。

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/2720025/weblog>

クリック→

